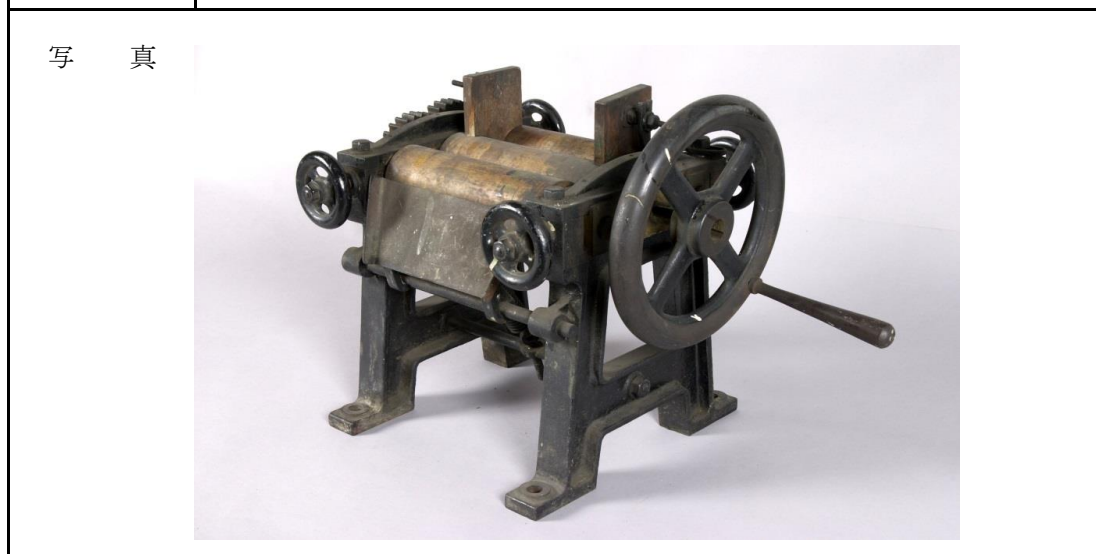


日本初の洋式塗料を製造

登録番号	第 00213 号		
登録年月日	平成28年9月13日	登録区分	第二種

名称 (型式等)	ペイント製造用手廻しロールミル		
所在地	大阪府大阪市		
	日本ペイント歴史館		
所有者 (管理者)	日本ペイント歴史館		
製作者(社)	共同組合光明社		
製作年	1884年頃		
初出年	1881年		
選定理由	日本における近代塗料工業の歴史は、1881（明治14）年に共同組合光明社（現：日本ペイントホールディングス）が設立され、洋式塗料の国産化に成功したことで幕を開けた。手廻しロールミルは、その当時顔料と基材の混合・分散に使用されたものである。手廻しで回転する直径6cm、長さ20cmの3本の木製ローラーの間に、顔料、樹脂などの原料を通し、細かく砕いて練り合わせた。3人交代で、1日がかかりで練って、60kgあまりの製造能力があった。本資料は、国産塗料開発・製造草創期におけるものとして貴重である。		
登録基準	ニーイ（国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの）		

公開・非公開	公開
--------	----



その他参考となるべき事項	
--------------	--